奥州市環境市民会議
奥州めぐみネット会報
SINCE 2010

第22号
2013. 10

会員数127
2013.10.22 現在

秋の散居風景（胆沢区）

いさわジュニアミュージカルスクールが「環境フォーラム」に出演します

いさわジュニアミュージカルスクールは、平成13年に旧胆沢町教育委員会主催事業としてスタートし、平成20年度からは胆沢文化会館自主事業となり、今年で13年目を迎えました。これまで、奥州市内の小学１年生から高校３年生までの子どもたちが、毎年、夢と感動のミュージカルの舞台をつくりあげ、市内外の多くの方々を魅了してきました。

平成21年度には、第24回国民文化祭しずおか2009「こどもミュージカルの祭典」に岩手県代表として出場。また今年８月には、静岡県掛川市を訪問し、「姉妹都市交流公演　奥州市掛川市子どもミュージカル交流～手と手をつないで～」を開催し、温かい交流をすることができました。

今年も12月８日（日）に胆沢での定期公演が予定されています。今年の参加者は45人。スタッフも合わせ総勢60名が感動のミュージカルを公演します。

おうしゅう環境フォーラム2013では、今年の定期公演の演目「ボクらの瓢箪島体験記～ビンの中の手紙～」を、一足早くダイジェスト版でお贈りします。東日本大震災から２０年後を舞台に、あの日から心の時計が止まってしまった大人たちに、子どもたちの前を向いて生きていこうとする心と、海での冒険心を忘れない純粋な心で、まっ直ぐに向かっていく、夢と希望が織り成す感動の舞台です。

リサイクル処理施設視察研修

資源循環・廃棄物部会では、24名の参加により、９月５日(木)に宮城県栗原市のリサイクル業者２社の視察研修を行いました。ペットボトルを処理するダイワテクノ工業(株)からは、“奥州市で回収されるペットボトルは異物の少ない優秀な物です“と評価されました。市民のみなさんの日頃のご努力のおかげです。

奥州万年の森植樹祭

自然環境部会では、９月７日(土)に前沢区字石田の奥州万年の森公園にて開催された「第６回奥州万年の森植樹祭」に参加し、クヌギやコナラ等 29 種類の苗木を植樹してきました。

また、10 月 26 日(土)には、同会場で「どんぐりの苗づくり」が開催されます。

ビューポイント発見ツアーin胆沢

自然環境部会では、９月25日(水)に17名が参加し「遺跡探訪＆ビューポイント発見ツアーin胆沢」を開催しました。

当日は、胆沢区若柳の大清水上(おおすずかみ)遺跡や胆沢ダム管理所展望台からのダム湖の見学等を行い、胆沢区のビューポイントを再確認しました。

横手市の環境美化組織がめぐみネットを視察

10月３日（木）、横手市横手地域環境美化推進員連絡協議会の一行31名が奥州市に行政視察に訪れました。当会からは、高橋代表、阿部副代表及び及川資源循環・廃棄物部会副部会長が出席し、めぐみネットの設立経緯や組織の概要、不法投棄撤去活動等について説明したほか、胆沢区公衆衛生組合連合会の千田会長が、胆沢区における不法投棄の現状と対策について説明しました。

参加者は、市民団体と行政が協働で不法投棄対策に取り組んでいることに、高い関心を示していました。

ハッピーエコライフコーナー

昔の薪ストーブと比べると、最近のストーブは大型で鋳物製、煙突が二重構造、中に断熱材入りで結露しないのでタールがでない。薪の燃え方が違い、炭などと同じく薪の芯から燃えるらしく遠赤外線がでるのでどこからともなく暖かいのである。煙もあまり出ない（完全乾燥薪を使用）し灰も少ない。

鋳物製なので薪がなくなっても（ナラ等の広葉樹は熾きが残る）すぐには冷めない。

良いこと尽くめですが、最大の問題は、薪をどうやって集めるかです。里山にはのっそりありますよ。（環境学習部会　千田正典）

放射能から子どもとみんなの命を守る⑧

奥州めぐみネット会員　吉田　智子

３．放射能から身を守るために

（１）測って剥ぐ　――外部被曝を防ぐ――

家や集会所等の見取図を用意し、市役所（総合支所）から測定器を借り、測って記入しましょう。セシウムは水で移動し、雨樋の下や滑り台やブランコの下、土手の斜面、芝生、木の根元等は放射線量が高いようですが、測ってみないとわかりません。

事故後２年を経過し、半減期が２年のセシウム134は減っていますが、セシウム137はこれから100年付き合わなければなりません。測りながら高い部分の土を剥ぎ、ビニール袋に入れて深い穴を掘って埋め、土をかけておきましょう。（処分方法が決まったら移動する。）天地替えをすることも有効です。

また、町内の皆で力を合わせて遊び場を測定・除染し、１カ所でいいので、寝転んだり駆け回ったりして泥だらけになって遊べる所が出来るといいなあと思います。子ども達の体と心の発達のために。

（２）出来るだけ体の中に取り込まない　――内部被曝を防ぐ――

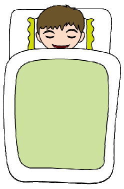
① 吸い込まない！

風が強いと、地面等から放射性物質が舞い上がり空気中を漂います。マスクをして吸い込みを防ぐ、洗濯物をよく叩いて放射性物質を落としてから取り込む等が大切です。家の中にもたくさん舞い込んでいますから、水拭きは効果があり、小さい子のいる家では必須です。時々、桟や棚も掃除し、家の中から放射性物質を移動させましょう。

② 傷口、汗腺に注意！

転んで擦りむいてしまったら、すぐ洗わないと、傷口から入ったセシウムが全身を廻ってしまいます。外から帰ったら、手洗い、うがい、そして髪の毛をよく洗う等の習慣形成も大切です。

③ 排泄を促す！



寝ている間に誰にでも出るメラトニンというホルモンは、活性酸素を外に出す働きをしています。人間の体の中に約70％もある水＜H_2O＞は、放射線にあたると水素原子がはじきとばされて活性酸素＜ＯＨ＞になります。これがまた体の中で悪さをするのですが、それを外に出してくれるのです。しっかり寝ましょう。また、運動や遊びで新陳代謝を活発にすることも大切です。更には、チェルノブイリ原発事故の際排泄が確かめられているリンゴペクチン、アルギン酸、ビタミンＣの摂取等も有効です。

会員リレー紹介

会員No.団-06／自然部会所属　『エコワークいさわ水の郷』（代表 佐々木 壽雄）

平成8年、旧胆沢町が国土庁から「水の郷百選」に選定された事を機に、住民主体で町全体を水のミュウジアムとする「水の郷つくり計画」を策定、その具現化のためには、きれいな水を胆沢扇状地に、そして後世に伝えるべく、平成12年4月策定委員がボランティア団体「エコワークいさわ水の郷」を結成し、水源の森つくりとして「２２世紀ブナの森つくり」活動を開始、奥州市をはじめ教育委員会・賛同団体・多くの市民の協力をいただき「森つくりは人つくり」を合い言葉に、水源地保全活動を展開、また、北上川流域市町村や北上川河口の石巻市との交流を継続して14年になります。

ブナの実を拾って苗木を保育、藪野を刈り払い、植林約６ヘクタール・６千本を植樹しました。参加された多くの皆さんにお礼申し上げます。

特に、本年は胆沢ダム竣工を記念して、10月27日ダム堤体直下に植樹を計画しているところです。（事務局長　佐藤　智佐人さん）

地球を愛するあなたのために⑨

石けんのススメ

「石けんのススメ」という冊子があります。「合成洗剤をやめていのちと自然を守る埼玉連絡会」というところが発行したものです。事務局は「さいたま市水道労働組合」。なぜ水道労組が？とお思いになりますか？それは、現場で携わっている人だからこその危機感があるからです。現在の日本の浄水システムでは、河川水の汚れのうち、農薬や合成洗剤のような化学物質は完全には除去できないのです。日本の多くの水道水は河川水から作られていますから、それらの水を飲まざるを得ない人々がたくさんいるということになります。山からの水をプールして水道水として飲める奥州市地域は恵まれていると言えるのでしょう。しかし、上流の私たちが合成洗剤を垂れ流せば、下流へ多大な悪影響を与え続けることを忘れないでください。環境ホルモン作用や魚毒性など、海の生物に与える影響が少なくないのです。たとえばウニ。その受精卵がダメージを受けて細胞分裂をしないということが起こります。同じことが海の他の生物にも起こりうることは想像に難くないでしょう。漁業に携わる方々はそういう現実を目の当たりにしているため、石けん運動に熱心なことが多いのです。2009 年２月に公表された環境汚染物質排出量データによれば、合成洗剤の成分が半分以上を占めています。驚きませんか？各家庭で何の疑いもなく使っている洗濯や台所用洗剤、あるいはシャンプーなどの合成洗剤。これらが生態系を壊し、巡り巡って私たち自身の身体を知らない間に蝕んでいます。

先日、ある方の体験談を聞きました。いつの日からか何を食べても苦いと感じるようになって、県内に一か所だけある化学物質過敏症外来を受診されました。その結果その方の場合は、化学物質過敏症一歩手前で、薬による治療と生活改善によって治癒することが分かり、ほっと一安心というところだったそうです。その時医師から指示されたのは、まず合成洗剤をやめ、石けんに切り替えること、添加物の少ないものを食べることだったとか。この一歩手前というところが重要です。たとえて言うならば、今の症状は二つのコップのうちひとつが溢れた状態。もうひとつが溢れてしまったらもう一生治らないという怖いことになってしまうのだそうです。そうなると、どんな化学物質に反応し症状が出るか分かりません。生きる場所が極端に狭められてしまいます。

最近、強い花の香りのする洗剤や柔軟仕上げ剤のテレビコマーシャルが頻繁に流されているのにお気づきだと思います。驚いたことに、このコマーシャルが出て以来、化学物質過敏症外来を訪れる患者が５倍に増えたそうです。香り（臭い）も化学物質由来であることが増えているのです。いかがですか？さあ、あなたもシンプルな「石けん生活」始めませんか？ほんのちょっと気持ちを切り替えて一歩を踏み出しさえすればいいのです。詳しくは、この「石けんのススメ」を是非お読みください。

生活環境部会より（文責：中井　慶）

※この冊子をめぐみネットで2冊購入しました。貸出希望の方は事務局まで。

募集！！

環境フォーラム実行委員会では、前日(11 月 29 日)の準備と、当日(11 月 30 日)の運営にご協力いただけるスタッフを募集しております。一日でも半日でも結構です。可能な方は下記事務局までご連絡ください。

＜１面の写真＞

奈良時代の「続日本紀」に記述のある「水陸万頃」に重なるこの地は、日本三大散居村として謳われていて、豊饒奥州の原型とも言えます。奥州めぐみネット高橋貞勝代表の作品により、私たちの大地　奥州市の環境を紹介していきます。

※連載コラム「地球規模の異常気象」は、都合により休載します。

◇ つぶや記・あとが記 ◇

「奥州市環境市民会議」の一層の活性化と会員のネットを更に強固にするために会報の果たす役割は？…との想いから、今号から１面に写真を飾ることとしました。市内の豊かな自然等をタイムリーに、それが会報の読み易さに繋がるようにとの願いです。当会代表の作品ですので、*「自産自消」*でしょうか…。但し、インクの量も相応に消費、は「ボヤキ」ですが、まずは「ヤル気」を出して「元気」に、です。（安倍　進）

事務局　奥州市水沢区大手町一丁目１番地　　奥州市役所市民環境部生活環境課内
電話　0197-24-2111 ／ ﾌｧｯｸｽ　0197-51-2374 ／ ﾒｰﾙ　seikatsu@city.oshu.iwate.jp
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ　http://www.city.oshu.iwate.jp/htm/kankyou/meguminet.html